

学部案内

2024



おもしろい
大学

富山大学 医学部

University of Toyama : School of Medicine

医学科

看護学科



Science&Art



再編・統合前 富山医科薬科大学

昭和50(1975)年	富山医科薬科大学設置 医学部医学科設置
昭和51(1976)年	薬学部設置(旧・富山大学より移行)
昭和53(1978)年	和漢薬研究所(現:和漢医薬学総合研究所)設置(富山大学より移行) 大学院薬学研究科(博士課程)設置
昭和54(1979)年	附属病院設置・開院
昭和57(1982)年	大学院医学研究科博士課程(生理系専攻, 生化学専攻, 形態系専攻, 環境系専攻)設置
平成5(1993)年	医学部看護学科設置
平成6(1994)年	附属病院が特定機能病院に承認
平成9(1997)年	大学院医学系研究科修士課程(看護学専攻)設置
平成15(2003)年	大学院医学系研究科修士課程(医科学専攻)設置
平成16(2004)年	大学院医学系研究科博士課程(認知・情動脳科学専攻)設置 医科学専攻と認知・情動脳科学専攻の2専攻に改組

沿革

再編・統合後 富山大学

平成17(2005)年	旧・富山大学及び旧・高岡短期大学と再編・統合し、新・富山大学(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部, 医学部, 薬学部, 芸術文化学部)となる
平成18(2006)年	大学院薬学研究科, 大学院医学系研究科, 大学院理工学研究科を統合・改組し, 大学院生命融合科学教育部, 大学院医学薬学教育部, 大学院理工学教育部設置
平成20(2008)年	附属病院専門医養成支援センター設置
平成22(2010)年	附属病院が富山県がん診療人材育成拠点病院に指定
平成27(2015)年	大学院医学薬学教育部博士後期課程(看護学専攻)設置 医学教育センター設置 医学部設置40周年
令和4(2022)年	大学院医学薬学教育部, 大学院理工学教育部等の修士・博士前期課程を統合・改組し, 大学院総合医薬学研究科, 大学院医薬理工学環等を設置



c o n t e n t s

-
- 02 医学部長からのメッセージ
 - 03 国際基準に適合した医療人養成
-

GUIDANCE

- 04 多職種連携教育
- 06 医学科カリキュラムの特徴
- 08 看護学科カリキュラムの特徴
- 10 基礎医学の立場から
- 12 臨床医学の立場から
- 14 社会医学の立場から
- 16 看護学の立場から
- 18 病院長からのメッセージ

TOPICS

- 20 ポストコロナ時代の医療人養成
 - 21 データサイエンス教育, SDGs
 - 22 ハワイ医学教育プログラム
 - 23 国家試験合格への学修支援
 - 24 富山県出身者を対象とする入学枠
 - 25 キャリアパスとしての大学院進学（医学）
 - 26 キャリアパスとしての大学院進学（看護学）
-

- 28 先輩からのメッセージ 医学科
- 30 先輩からのメッセージ 看護学科
- 32 入学状況, 入試情報, 入学者の出身地
- 33 国家試験合格状況, 卒業者の進路, 大学院の構成

医学部設置 50 周年に向けて： ポストコロナ時代の医療人材養成



富山大学医学部は、1975年に富山医科薬科大学医学部として開学し、間もなく設置50周年を迎える歴史ある医学部となりました。建学の理念は論語の「里仁為美」であり、「仁の精神（思いやりの心）」をもって地域と世界で活躍できる医療人の養成を使命としています。現在までに医師4075名、看護師1783名、保健師1941名、助産師134名を輩出しており、卒業生は保健、医療、教育、研究、行政の各領域において、地域と世界で活躍しています。

富山大学医学部は、医学と薬学の融合、西洋と東洋の融合、基礎と臨床の融合を目指した富山医科薬科大学の歴史を踏まえて、また、富山県内の国立大学の再編・統合により日本海側有数の総合大学となったスケールメリットを生かした教育や研究、社会貢献を行っています。

学生は、人文、経済、教育、理学、工学、都市デザイン、医学、薬学、芸術の各学部の教員が開講する多種多様な教養科目の受講を通じて、豊かな人間性を涵養します。また、専門科目では、医学と薬学が1つのキャンパスに集約されている「地の利」を生かした医学生、看護学生、薬学生に対する合同教育の受講を通じて、現代医療に求められる多職種連携の精神を涵養します。

医学教育の特徴は、国際基準に則った医学教育の実施であり、日本医学教育評価機構（JACME）から国際基準に適合との認定を受けています。そのため、卒業生は米国医師国家試験の受験資格を有するなど、世界での活躍が可能です。また、昨年度、文部科学省補助金「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」に選定（補助期間：7年間）され、オンライン診療に関する教育など、ポストコロナ時代に必要な医療人材養成を開始しました。

看護教育の特徴は、全国で数少ない4年制課程で看護師、保健師、助産師の受験資格を同時に取得できる教育の実施であり、さらなる看護教育の充実を目的として、日本看護学教育評価機構（JABNE）の認証取得に向けた教育改革が実施されています。また、今年度、大学院修士課程に診療看護師（NP）コースを新たに開設して、高度な看護人材養成を開始しました。

研究では、とくに脳科学領域で世界最先端の研究が行われています。また、近年では、人工知能やビッグデータによる研究も盛んに行われており、国内外から注目されています。他学部教員との分野融合研究や、海外大学との国際共同研究も活発に行われています。こうした研究成果を地域と連携した地域課題解決にも活用するなど、積極的に社会への還元を図ることで、社会貢献を行っています。

高度な知識と技術は、高い精神性の上に築かれてこそ、社会にとって有益なものとなります。富山大学医学部で、「仁の精神」をもって地域と世界で活躍できる医療人を目指しませんか。

皆様を心からお待ちしています。

富山大学医学部長 関根 道和



建学理念「里仁為美」



Accredited
2023-2030

国際認証

富山大学の医学教育は 国際基準に適合

全国で7番目、北陸3県で初の認定

本学の医学科は、日本医学教育評価機構（JACME）による分野別評価を受審し、2018年3月26日付で国際基準に適合していると認定されました。富山大学は、全国で7番目に審査を受け、認定は北陸3県で初めてです。

分野別評価は、米国の外国人医師卒後教育委員会（ECFMG）が「2023年以降、国際基準で認定を受けた医学部の卒業生に限り、米国医師国家試験の受験資格を与える」と通告したこと（医学教育「2023年問題」）を契機に、日本医学教育評価機構が国際基準に準拠して審査を実施しているものです。

2022年5月に2回目の受審を行い、医学部の使命や教育プログラム、管理運営などの9領域について、自己点検書による書類審査とWeb面接調査により再評価を受けました。その結果、最新の知識と技能、および、高い倫理観と温かい人間性を備えた社会貢献のできる医師や医学者を育てるために、教職員が熱意をもって医学教育を実践している点が高く評価され、7年間の認定を受けました。

医学教育の質保証

ECFMGによる通告の背景には、新興国による医学部の乱立があります。そのため、米国では、米国内で働く外国人医師の質を担保するために、国際基準に適合した医学部を認定して、認定された医学部の卒業生のみに米国医師国家試験の受験資格を与えることにしたのです。こうした動きは、世界に波及することが見込まれています。し

たがって、今後、非認定の医学部の卒業生は、医師としての海外での活動が米国に限らず制限される可能性もあります。その意味で、富山大学の医学教育が国際基準に適合しているとの認定を受けたことは、意義が大きいと考えています。

看護学教育の質保証

医学教育の質保証の動向を受けて、看護学教育の質保証のための認証団体である日本看護学教育評価機構（JABNE）が2018年に設立されました。本学の看護学科は、2027年に分野別評価の審査を受ける予定としており、現在、認定に向けた看護学教育改革が進行中です。

私達はグローバル・スタンダードの医学教育や看護学教育を実施することで、地域と世界で活躍できる医療人を養成していきたいと考えています。



多職種連携教育

総合大学の強みを生かした
医学・看護学・薬学の合同教育が
将来の多職種連携の



1年次

2年次

3年次

4年次～

「医療学入門」の
合同教育

「和漢医薬学入門」の
合同教育

「疫学」「感染症」の
合同教育

保健・医療・福祉・
介護の現場での
多職種連携教育

心事を持つ学生と交流を深めることができます。医療人は、多様な価値観と関心事を持つ患者さんを理解して寄り添う能力が必要であり、貴重な人生経験となることでしょう。

合同教育による多職種連携能力の育成

現代医療は、医師・看護師・薬剤師等医療職の高度な専門性と、それらの医療職の連携によるチーム医療の展開に特徴づけられます。

こうした多職種連携能力を身につけるために、富山大学医学部では総合大学の強みを生かした入学から卒業まで継続した合同教育を実施しています。

「教養教育」における9学部の合同教育（1年次）

富山大学は9学部（人文学部、経済学部、教育学部、理学部、工学部、都市デザイン学部、医学部、薬学部、芸術文化学部）からなり、約8,000名の学部生と約1,300名の大学院生が3つのキャンパスで勉学に励んでいます。

すべての学部の1年次生は、五福キャンパスで一緒に教養教育を履修します。また、多数の課外活動団体が活発に活動しており、学部を超えて多様な価値観と関

「医療学入門」における 医学・看護学・薬学の合同教育（1年次）

医学・看護学・薬学の専門教育としては、多職種連携能力を涵養するために、1年次の専門教育である「医療学入門」では、合同教育が行われています。医療倫理、患者・医療従事者関係、コミュニケーション技法、障害者・高齢者の医療、薬害、医療と地域社会などを合同で学修します。また、新入生医療学研修（立山研修）、心肺蘇生講習会、介護体験実習、富山県立イタイイタイ病資料館見学などを行います。

これらの多岐にわたる合同教育により、それぞれの専



	医師
卒業	看護師、助産師、保健師
	薬剤師

門職の自覚が芽生えます。また、グループ学修、全体討論といった経験を通じて、「よき医療人(プロフェッショナル)」となるための総合的な能力を修得します。

看護学科3年次の「老年看護学総論」では、高齢者とその家族の健康及び生活の質を高めるため、多職種連携によるチームアプローチを用いた老年看護の役割について深く考える機会が設けられています。

「和漢医薬学入門」における合同教育 (2年次)

富山大学の特徴の1つは、「東西医学の融合」です。歴史ある世界水準の和漢医薬学総合研究所があり、また、附属病院では和漢診療科が東洋医学と西洋医学を融合した医療を実践しています。

このような富山大学の特徴を生かして、2年次の合同教育として「和漢医薬学入門」が開講されています。和漢医薬学の研究や臨床などを講義と実習により学修します。卒業生は、西洋医学だけではなく東洋医学にもとづく医療が実践できます。富山大学で学ぶ大きなメリットの1つと言えます。

また、看護学科2年次の「成人看護論」では、看護学科と医学科の教員が連携して、講義や演習を行います。その結果、看護学と医学の考え方の共通点と相違点を踏まえた将来の多職種連携の素養が涵養されます。

保健・医療・福祉・介護の現場での 多職種連携教育(4年次~)

医学科は、4年次後期から、看護学科は、4年次少し前から富山大学附属病院や地域の中核病院等での実習の中で、医療チームの一員として、医師、看護師、薬剤師、介護士、事務職員などとの多職種連携による医療経験を多く積みます。

自職種の専門性と全ての職種に必要な全人的な態度と連携能力を身につけます。このように、入学から卒業までの合同教育を通じて多様な価値観と関心事を尊重し、自職種の専門性と多職種連携能力を涵養する機会があります。地域社会や国際社会に貢献できる意思と能力を身につけることができる最適な環境が提供されています。

「疫学」「感染症」における合同教育 (3年次)

医師や看護師、薬剤師は、科学的根拠(エビデンス)にもとづいて患者さんに最善を尽くすことが求められます。3年次の合同教育である「疫学」では、医学研究や看護学研究における調査手法、分析手法、結果の解釈を、講義と演習により学修し、人を対象とした研究にもとづくエビデンスを提供する学問を学びます。

また、世界的な新型コロナウイルスのパンデミックを受けて医学科、看護学科、薬学部で「臨床現場」をイメージした多職種連携教育が新設され、感染症に関するグループ学修が行われています。

CHECK

杉谷キャンパス 課外活動紹介

〈体育系〉ITFテコンドー部／競技スキーパーク／準硬式野球部／女子軟式野球部／弓道部／剣道部／養神館合気道部／武田流中村派合氣道部／卓球部／男子ハンドボール部／女子ハンドボール部／男子バスケットボール部／女子バスケットボール部／男子バレー部／女子バレー部／ソフトテニス部／硬式テニス部／バドミントン部／サッカー部／ラグビー部／山岳部／水泳部／ウインドサーフィン部／ストリートダンス部／陸上競技部／ゴルフ部／スキューバダイビング部 WEDIT／アーチェリー部
 〈文化系〉管弦楽団／諸鞭会／軽音楽部／ギターマンドリンクラブ／小児科訪問サークル 青い鳥／コーラス部／ボランティア同好会／三曲会／ウインドアンサンブル／写真部／美術部／茶道部／ESS／救急医療研究会 SALT／国際医療研究会／書道部／peer☆yacha／ジャズ研究部／TULid(チューリッド)／医学薬学祭実行委員会

医学科カリキュラムの特徴



6年一貫教育により、高度な知識と技術をもつ
人間性豊かな医師や医学者を養成します

医学科長 森永 芳智

医学科では入学から卒業まで6年間を過ごします。この6年は初年次教育から始まり、専門教育として基礎医学・臨床医学・社会医学を学び、臨床実習を経て、医師の資格に必要な医師国家試験を受験することになります。本学は医療系の学部が同じキャンパスに集まっているため、将来異なる職種に就く人たちと、学修や実習、課外活動と共に取り組む機会があります。また、希望者には在学中から研究に取り組む機会も設けられています。

初年次教育（1年次）

1年次生の教育は、主に五福キャンパスで行われます。専門教育で必要となる基礎的な教養を学修するほか、皆さんのが興味のある科目を選択して学修することができます。このような教養教育に加えて、医療人としての入門となる科目も入学直後より始まります。1年次前期の「医療学入門」は、医学科・看護学科・薬学部の学生を対象としているもので、医療を取り巻く諸問題についてグループワークを行って一緒にになって考える教育が行われます。薬害、イタイイタイ病、介護、心肺蘇生などについて多角的に学修し、この時期から医療人としての自覚を芽生えさせることで、医療人として必須のプロフェッショナリズムの基盤を形成していきます。後期の「医学概論」では、複数の教員が最新の医学を紹介しながら自身の医師としてのキャリアを考えていきます。



「イタイイタイ病資料館見学」（医療学入門）

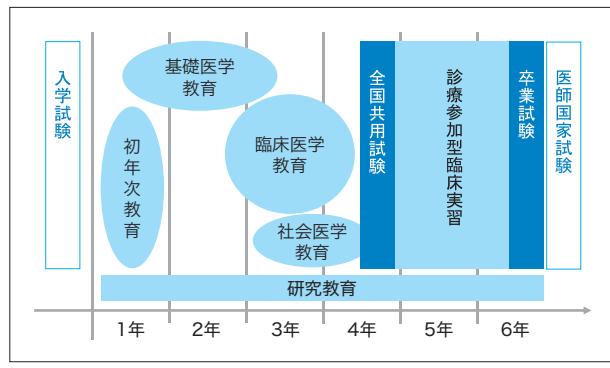
基礎医学教育（1年次後期～2年次）

1年次の後期になると専門教育が始まります。人体の正

常な構造や機能、生命現象を維持する仕組み、生体防御の仕組みなどについて学び、これらを基礎医学と呼んでいます。基礎医学を理解しておかなければ、病気や治療について理解することができません。具体的には、解剖学、組織学、生理学、分子生物学、微生物学、免疫学、薬理学、病理学、行動科学、放射線基礎医学などを、2年次の後期までの間に講義と実習を通して学修します。

臨床医学教育（3年次～4年次前期）

3年次になると、各種疾病について学修することとなります。すべての分野の疾患について、病気のなりたち、分類、診断、治療、予防について学修し、これを臨床医学と呼んでいます。臨床医学では、実際に専門的に診療を行っている教員が講義を担当しますが、基礎医学で学んだことを活かして疾病的理解を深めるために、講義の一部は基礎医学の教員も担当することで、基礎と臨床が連携して教育を行う統合型カリキュラムとなっています。臨床医学ではすべての診療科の科目と、臨床検査、リハビリテーション、病理診断、放射線診断などの診療科を横断して診療を支える部門の科目について学修します。



社会医学教育（3年次後期～4年次前期）

社会医学とは、疾病につながる背景にも視野を広げ、社会全体の健康水準の向上を目指す医学です。例えば、どれほどの人がある病気にかかるのだろうかとか、どのようなことがその予防になるのだろうか、社会の仕組みとして解決できることがないだろうかということなどが含まれ、新型コロナウイルスの流行を経て、社会医学の重要性が認識されています。具体的には、疫学、予防医学、医学統計学、公衆衛生学、救急災害医学、病院経営学、法医学などについて講義と実習形式で学修します。地域社会との密接な連携や協働は極めて大切なため、行政機関や医師会、地域病院等の協力も得て、保健・医療・福祉・介護のシステムや連携体制を体系的に理解します。社会医学教育では、地域の実情に合った保健医療の実践に必要な知識と技術を修得します。

診療参加型臨床実習 (4年次後期～6年次前期)

基礎医学、臨床医学、社会医学を学修したあとの4年次生の半ばには、臨床実習に参加するために必要な試験があります。この試験は全国のどの医学部でも行われるもので、厳密かつ厳正に行われ、臨床実習へ進むにあたり十分な知識・技術・態度を修得しているかを全国共用試験（コンピュータによる試験(CBT)と客観的臨床能力試験(OSCE)）によって評価します。



2022年度 Student Doctor 認定証授与式

臨床実習



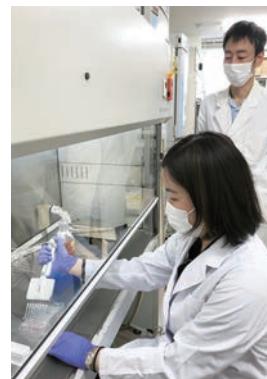
全国共用試験に合格すると、4年次生の後期からの臨床実習が始まります。臨床実習は見学ではなく、診療に参加することが求められます。富山大学附属病院の全診療科を約1年かけてローテートしながら、技術を修得し、プロフェッショナリズムを磨き、それまでの学修内容の理解を深め整理を行っていきます。その後の半年ほどは、更に発展させた

実習形式で、希望の診療科で長く実習を行ったり、地域プライマリケアを行ったり、海外の施設で実習を行ったりする選択制臨床実習という期間が設けられており、6年次生の前期までに合計約1年半をかけて実習が行われます。

その後は、卒業試験を経て、例年2月に行われる医師国家試験に向けての準備を進めていくこととなります。

研究教育（1年次～6年次）

現代の医療を支えるものは科学的根拠です。科学的根拠には研究が必要となりますが、本学では在学中に研究を行う体制も整っています。3年次前期の「研究室配属」では、研究室に1か月間所属して研究を行い、英語文献を読んだり、データの収集・分析のほか、研究発表などを行います。



研究医養成プログラムにおける研究風景

より研究志向を持つ学生のために、「研究医養成プログラム」という科目を選択できるようになっています。通常の講義・実習以外の時間で取り組むため、試験勉強や課外活動などと両立しながら、在学中に研究室に所属して学会発表や論文公表を行います。このプログラムの修了者は、本学の大学院博士課程（4年制）に進学した場合、一定の要件を満たすと3年間で博士号を取得することができます。

総合的な学修支援

医学科の6年間のカリキュラムを経て医師免許取得までには、あくなき向上心とたゆまぬ努力が不可欠です。そのため、本学には学生を支援する様々な環境を整えています。たとえば、24時間利用可能な図書館は、多くの学生が昼夜勉学に励む場所として利用されています。「カリキュラム委員会」は学生と教員で構成され、話し合いながら教育の改善を図っています。また、学生と教員のつながりとしてクラス担任とグループ担任の制度があります。前者は学年ごとに3名の教員が配置され、必要に応じて修学や生活面での面談などを行っています。後者は1年次生から6年次生までの小グループに教員の担当がつく体制となっており、時々集まって、下級生が先輩や教員の話を聞いたりアドバイスをもらったりすることができます。お互いに支えあいながら前進していく体制があることは、本学の医学教育の特徴です。

看護学科カリキュラムの特徴

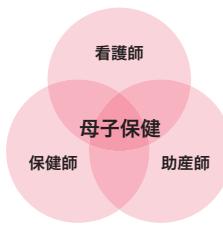


統合カリキュラムによって
時代の変化に強い医療者を養成します

看護学科長 長谷川 ともみ

統合カリキュラムの特徴

看護学教育において、保健師、助産師、看護師等の国家試験受験資格が取得できるようにカリキュラム構成されたものを統合カリキュラムと言います。国立大学でこの3つの国家試験受験資格が同時取得できるのは、本校含めて現在4校のみです。他大学では、統合カリキュラムと称していても保健師や助産師は選択になっているところが多数です。病院で勤務する看護師にとっても保健師の視点は重要であり、地域包括ケアシステムに代表されるような施策に強い看護ができるることは看護職のスキルアップにもつながりますし、就職活動においても選択肢を広げ、生涯を通じての多様化する働き方も可能にしてくれることでしょう。国家試験問題においても3つのライセンスに共通して出題される部分として母子保健があります。4年制大学で統合カリキュラムを学ぶことによって、将来、病院等で行われる委員会や研修会においてもアカデミックな発言・提案ができる能力が養われます。



学士課程 1年次カリキュラム

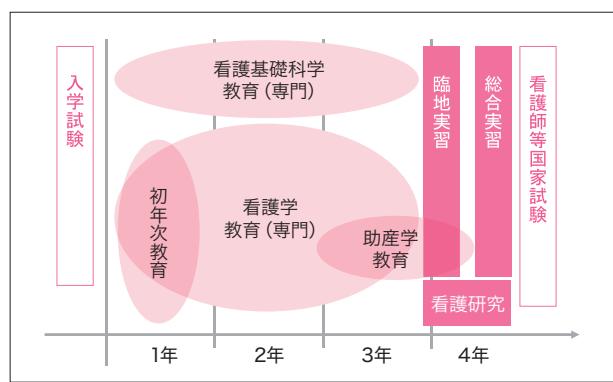
1年次の教養教育では、幅広い学問を身に付け大学生としての基礎的で汎用性のある科目を修得します。講義は五福キャンパスで行われ、他の8学部の学生とも交流しながら学修を進めることができます。富山大学の学部学生は全学年で約8,000人であり、異分野交流を通して考え方の違いやお互いの学問に対しての意識を高めることもできるでしょう。教養科目には外国語系、人文科学系、社会科学系、自然科学系、理系基盤教育系、保健体育系、医療・健康科学系、情報処理系および総合科目系があり、

選択科目が中心で自分に合った科目を選択できます。特徴的なこととしては、英語教育、データサイエンス教育に力を置いているところ、必修科目として医療学入門という医学科、看護学科、薬学科、創薬科学科が合同で受講する科目があります。また、看護学についても、1年次から看護基礎科学、基礎看護学、身近な医学が五福キャンパスで開講され素養を育んでいきます。



学士課程 2年次カリキュラム

2年次以降はキャンパスが杉谷に移ります。英語教育、データサイエンス教育は様々な科目の中で継続して行われますが、看護専門科目が始まることは学生にとって大きな節目となるでしょう。2年次以降はほぼ必修科目です。疾病学、薬理学、微生物学といったヒトの身体構造や機能、疾患の機序を理解すること、公衆衛生学、行動科学といった



看護学科カリキュラム概要

人々の行動を考える科目が入ります。また、妊婦、産婦に関する母性看護学系の講義が他の専門科目に先んじて前期に開講されます。

基礎看護学では、看護方法論で、広い実習室で援助技術に関して本格的に修得していきます。9月に基づき基礎看護学実習が大学附属病院で行われます。

さらに、くすりの富山と言われるよう古くから和漢薬が発展してきました。その特徴に代表される和漢医薬学入門が開講され、東西医学の融合の実際を知ることが出来ます。この講義は医学科と合同です。気血水のようにヒトを統合体としてフィジカルアセスメントすることは、看護学にも通じます。2年次後期には総論や臨床医学系が中心ですが、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学の講義が開講されます。臨床医学系の講義では、大学附属病院でまさに最先端の治療を行っている医師から講義を受けることが出来るので、実践的かつ最新の医療知識を吸収することが出来るでしょう。



学士課程 3年次カリキュラム

3年次は専門科目がより各論的に充実するとともに、地域看護学、最近注目されている在宅・訪問看護を学ぶ在宅看護学が始まります。人の暮らしに視点が移るとも言えます。本学看護学科は、3年次編入を受け入れているので、編入生はここからがスタートです。前述のごとく、臨床看護領域にとどまらず、保健領域の全分野を網羅できるプロフェッショナルになることを目指します。保健領域では、対象者の看護診断のみならず、市町村の地区診断といった公衆衛生看護学を修得します。地区の人口、産業、健康課題など市町村そのものの特徴をデータから解析します。こういう学修をすると、今まで何気なく手に取っていた市町村の冊子やHPが如何に熟慮されて作り上げられているか感心するのではないかでしょうか。

また、3年次には選択科目がいくつかあります。助産学ゼミナー、助産概論など助産師を希望しなく



ても興味があれば選択できる科目、東洋の知と看護等です。

3年次の後半2月から本格的な臨地実習(領域別実習)も始まります。

学士課程 4年次カリキュラム

4年次は主として領域別臨地実習が展開され、1グループにつき7~8人で各領域をローテーションします。小児看護学実習、母性看護学実習、成人看護学実習(周手術・慢性期)、精神看護学実習は大学附属病院で行われるので、最先端の医療に伴った看護学を事例展開します。シャドウリングとよばれる看護師に付き添って行う見学実習も多くあるので、学生は、安心してこれまで机上で学んできたことを実際に見学し、個別性の高いケア技術の意味を再度学んで、体験型の学修を行うことができます。看護学の醍醐味ともいえる感動体験があるでしょう。在宅看護学実習、老年看護学実習、地域看護学実習は、訪問看護ステーション、老健施設、市町村等で実施されます。くらしに寄り添うという意味が体得できるカリキュラムになっています。



また、看護研究も行い、11月には看護研究論文集を作成します。この看護研究は各領域に研究室配属された学生が、学士として必要な仮説の立て方、方法論の妥当性、データサイエンスの実際、結果の示し方、看護学としての考察のあり方、論文の書き方を学ぶことができます。そこから発展させて、総合実習へと学びを深めていきます。総合実習では、仮説検証型の専門性の高い実習内容であったり、自身の看護技術を振り返り追加して実習したい内容を考えたり、基本的に学生自身が主体的に実習計画を立て自己評価していきます。

上記のように富山大学医学部看護学科においては、4年間かけて、じっくりと自分の未来を見つめることが出来ます。

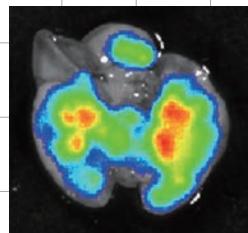


基礎医学の立場から

医療と基礎医学

医学部の使命には、良い医療人を育てるに加えて、優れた医学研究を行って医学研究者を育てることがあります。私たちの健康や病気についてそのメカニズムを知り、課題を解決する方法をみつけ、病気の治療法や予防法を生み出していくためには医学研究が必要です。医療の進歩は、病に悩む人に大きな希望を与え、人類の幸福につながります。研究に重点を置いて取り組む医学を基礎医学と呼びます。

富山大学の基礎医学系としての講座には、解剖学、統合神経科学、生化学、システム機能形態学、病理診断学、病態・病理学、免疫学、微生物学、分子医科薬理学、疫学・健康政策学、公衆衛生学、法医学、医学教育学、システム情動科学、分子神経科学、臨床心理学・認知神経科学、遺伝子発現制御学、行動生理学があり、それぞれの専門性を活かしたユニークな研究が行われています。また、連携して行われる研究も活発です。



新型コロナウイルスを感染させたハムスターの肺

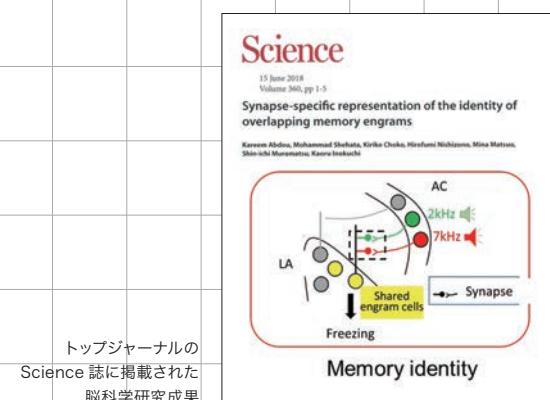
基礎医学を支える環境

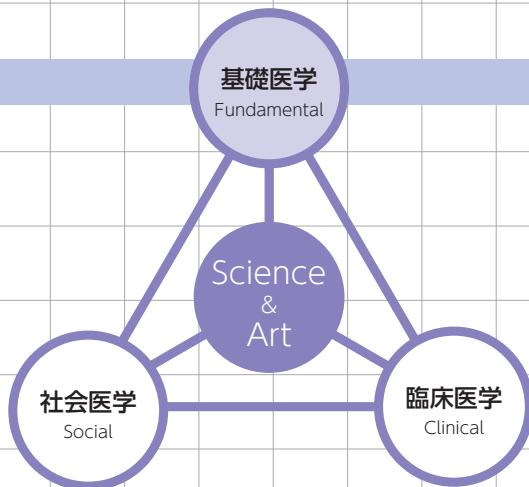
基礎研究では、新しい発見に気づくことがあります。それを確実にするためには、より細かな分析や別の角度からの確認が必要となることがあります。最先端の技術を駆使しなくてはなりません。このような場合でも更に研究が進められるように、杉谷キャンパスには高価な精密機器を共同で利用する体制が整っています。生命科学先端研究支援ユニットとして機器を集中させて、分子・構造解析施設、遺伝子実験施設、アイソトープ

実験施設、動物実験施設に配置しています。

分子・構造解析施設には、小さな分子の形や質量を解析できる機器があります。富山県出身でノーベル賞を受賞された田中耕一博士が開発された質量分析装置もその一つで、微量の物質がどのような物質かを知ることに役立ちます。そのほか、小さな分子の構造を調べる装置や、小さな分子間のお互いの作用を調べる装置が配置されています。遺伝子実験施設にはPCR装置が多数準備されていて利用者が盛んに利用し、次世代シークエンサーで遺伝情報であるゲノムの解析ができるようになっています。アイソトープ実験施設では、放射線同位元素というものを用いてごく微量な物質を捉える研究が行われています。動物実験施設では、一般的な動物実験の部屋以外に、マウスの行動を調べる部屋や、人工授精やゲノム編集などを行う部屋、感染症の研究を行う部屋などが設けられています。

このような整った環境によって、国際的にも評価が高い研究成果が生まれています。脳関連の研究特に力が注がれ、2020年度には「アイドリング脳科学研究センター」が設置され、睡眠や無意識状態での脳の働きとそのメカニズムについての研究が進められています。2022年度には「富山大学先端抗体医薬開発センター」が設置され、感染症の治療や診断につながる





時代に柔軟に対応する基礎医学

基礎医学は、未知と戦うために人類が手にした武器とも言えます。新型コロナウイルス感染症への挑戦はまさにその代表です。富山大学ではPCR検査体制をただちに整え、県内の検査依頼にも迅速に対応してきました。この取り組みは、文部科学省でも大学が検査を支援する例として紹介されています。また、免疫のでき方やワクチンの有効性についての豊富な論文は国内の医療方針にも活かされてきました。この貢献は2023年には高い病原微生物の動物実験を安全に取り扱いでいるABSL3実験室の整備にもつながり、日本海側では随一といえる感染症研究拠点となりました。

医学研究では、基礎医学の発見が臨床で活用されることを目指しています。国内には、基礎研究者だけで素晴らしい成果を挙げられるグループもありますが、富山大学の最大の特徴は、基礎医学と臨床医学の両者が連携する基盤が備わっていることにあります。臨床から発信される社会的なニーズに、研究で応えることができれば、その恩恵はダイレクトに社会に還元されます。新型コロナウイルス感染症に限らず、差し迫った困難を乗り越えるという時代のニーズにも迅速に対応できるような基礎と臨床の連携体制が富山大学にはあります。

新型コロナウイルスのPCR検査支援



生命科学と若い力

生命科学(Life Science)が立ち向かうべき課題は、これからも絶えることはありません。そのためには、未知の分野に突き進んでいく意気込みをもった若い優秀な人材の参入が不可欠です。富山大学には、時間を見つけて研究活動に積極的に参加する学生もたくさんいます。このように、基礎医学の視点をはぐくんだ医療人が育つ土壤があることは富山大学の特徴です。

基礎研究は、成果に至るまでの道のりは単純なものではなく、また世界を相手にするチャレンジングなものです。大きな夢をもった若い皆さんがともにこの分野で活躍することを熱望しています。

[微生物学講座 教授 森永 芳智]

自主的に研究活動に取り組む学生



臨床医学の立場から

医学部における臨床実習

2年次前半までの基礎医学の知識の修得後、2年次後半から臨床医学講義で臨床の知識を培います。その後4年次に行われる全国共用試験が終了すると、診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）が始まります。学生はStudent Doctorの称号を得て、講義や教科書で得た知識や技術をいよいよ実践の場で磨いていきます。まさに、これから医師としての一生の修練の機会が始まることです。本学の臨床実習には、『患者は常に私たちの師である。』、『実習では常に患者を勉学の中心にしなければならない。』、『臨床実習は病気のみならず心身統一体としての人間を対象とする。患者の身になって自らを省み、絶えず感性と理性をみがく努力を怠ってはならない。』などのポリシーがあり、医学的な知識や技術のみならず、医師として必要な科学、教養、人間性について学ぶことができます。

卒後研修と専門医養成プログラム

医師免許取得後2年間の初期研修では、一人ひとりのニーズに合わせて、附属病院あるいは協力病院での研修プログラムを提供しています。富山大学附属病院の特

徴の一つとして、オールラウンドな実力を身につけるプログラムや、目指す専門医に特化したプログラムなど、個人の目標に合わせたプログラムを自分自身で組めることができます。初期研修の内容やプログラムについては、卒後臨床研修センターが全面的にバックアップ、サポートします。卒後3年目以降の後期臨床研修では、診療科に所属して専門的知識と技術を向上していきます。富山大学にはすべての専門領域における専門医養成プログラムが準備されており、臨床面でも研究面でも優れた医師を輩出する体制が整っています。

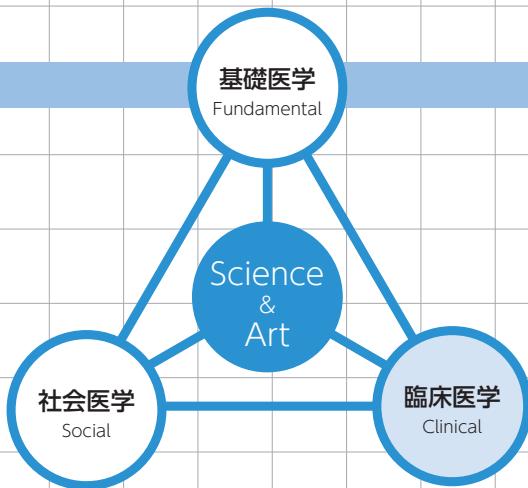
医学科の臨床講座には、糖尿病・代謝・内分泌、リウマチ・膠原病、呼吸器・アレルギー疾患を扱う内科学（第一）、循環器・腎臓疾患を扱う内科学（第二）、消化器疾患を扱う内科学（第三）、感染症学、皮膚科学、小児科学、神経精神医学、放射線診断・治療学、循環器（小児、成人）・呼吸器疾患を扱う外科学（第一）、消化器・乳腺・内分泌疾患と小児外科を扱う外科学（第二）、脳神経外科学、整形外科・運動器病学、産科婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、腎泌尿器科学、麻酔科学、歯科口腔外科学、臨床分子病態検査学、和漢診療学、脳神経内科学、救急医学、臨床腫瘍学があります。さらに附属病院には、血液内科、形成再建外科・美容外科、リハビリテーション科、総



カンファレンスでの指導風景



超音波内視鏡を用いた脾臓・胆道疾患の診療



手術に参加しての直接指導

合診療科があります。附属病院の病床数は612床で、患者さんへの診療はもちろん、若手の教育や基礎・臨床研究にも熱心に取り組んでいます。

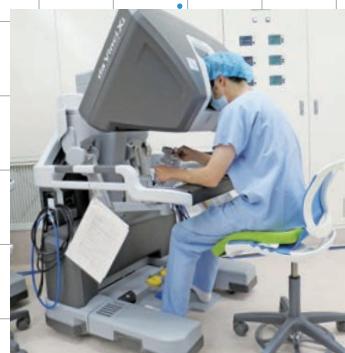
先端医療を学べる附属病院

附属病院では、先端医療あるいは質の高い医療を提供するため、診療科の垣根を越えた組織が設置されています。2020年に設置された総合がんセンターには、乳がん先端治療・乳房再建センター、膵臓・胆道センター、小児・AYA世代・妊娠性センター、ロボット手術センター、放射線治療センター、オンコサーミアセンター、血液腫瘍センター、頭頸部腫瘍センター、胸部腫瘍センター、消化器腫瘍センター、泌尿器腫瘍センター、婦人科腫瘍センター、肉腫・希少がんセンター、遺伝性腫瘍センターが含まれ、最新かつ高度ながん治療が行われています。また富山大学附属病院はがんゲノム医療拠点病院に指定されており、エキスパートパネルを通じて最先端のがん個別化治療を学ぶことができます。このほか、循環器センター、包括的脳卒中

センター、周産母子センター、総合感染症センター、痛みセンター、糖尿病センター、災害・救命センター、再生医療センター、先端めまいセンターなどがあり、いずれも県内外の患者さんが多数紹介され、専門性の高い医療を提供しています。

附属病院では、高度な先端医療機器も導入しています。例えば、手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ”が挙げられます。従来の腹腔鏡・胸腔鏡手術に比べて精緻な操作が可能で、からだに優しく、安全・適確な手術を行うことができます。附属病院の特長としては、幅広い手術にダ・ヴィンチを適用していることが挙げられます。前立腺癌、腎癌、膀胱癌、直腸癌、食道癌、膵癌、肝癌、胃癌、肺癌、縦隔腫瘍、腎孟尿管移行部狭窄、骨盤臓器脱、など全国的に見ても多種多様な活用を行っています。このほかにも、ハイブリッド手術室を活用した大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)、超音波内視鏡、経口胆道鏡、バルーン内視鏡などを用いた膵臓・胆道疾患の診断・治療、脊椎ロボット、人工関節置換用ロボットを用いた手術、顕微鏡を用いたマイクロサージャリー、内視鏡手術、広いスペースを確保し様々な機器を備えたリハビリ室など、国内外に誇れる最新の医療技術が日々活用されています。

[整形外科学講座 教授 川口 善治]



ダ・ヴィンチの操作風景



ダ・ヴィンチ手術への参加

社会医学の立場から ～社会の健康～

社会医学とは

日本が、世界有数の長寿国になれたのは、戦後の日本社会において教育水準や経済水準の平準化が進められたことにあると考えられています。実際、欧米諸国の中で、平等主義的な政策をとる北欧諸国は、自由主義的な政策をとる米国や英国よりも、社会経済格差が小さく、教育水準が高く、乳幼児死亡率が低く、平均寿命が長いことが知られています。このように、人の健康は、社会の仕組みや人々の生活と密接な関係にあります。

社会医学は、人文社会系を含めた広範な学問分野との連携・協働によって、社会の仕組みや人々の生活の改善を通じて、疾病の発生を予防し、「平均寿命」に代表されるような社会全体の健康水準の向上を目指しています。また、保健・医療・福祉・介護における社会制度の構築や管理・運営を通じて、安全で安心な社会の構築に貢献しています。

人々の生活環境は絶えず変化します。そのため、社会医学が対象とする内容も、時代とともに変化してきました。たとえば、戦後間もないころは、貧困や劣悪な生活環境を原因とする結核などの感染症が多く、その対策が中心でした。その後、日本は、高度経済成長を経て豊かな国となりました。しかし、その結果、肥満、糖尿病、メタボリック症候群、心臓病、脳卒中、がんなどの生活習慣病が増加しました。また、国民皆保険制度が導入されて、国民すべてが平等に一定水準以上の医療を受けられるようになりましたが、その結果として医療費も増加しており、対策が求められています。長寿は幸福なことですが、認知症も増加しています。さらにはグローバル化によって、新型コロナウイルス感染症のような健康問題が発生し、その解決に国境を超えた協力が必要となっています。

本学の社会医学系の講座では、時代によって変化する社会医学的な課題に対して、富山県や各種団体と連携・協働しながら、調査・研究の実施や施策立案への協力等を通じて社会に貢献をしています。

小児保健領域

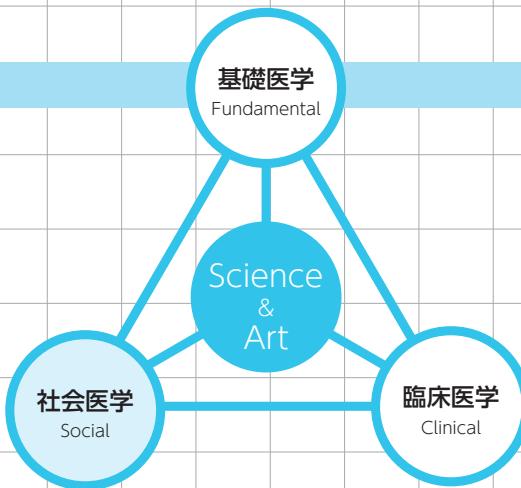
小児保健領域の調査・研究としては、富山県を含む全国15の地域で約10万人を対象とした「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」を実施しています。この調査は、子どもをとりまく環境要因が、子どもの健康や発育に及ぼす影響を明らかにするために行うものです。近年、アトピーやぜん息の子ども達が増えていますが、原因を明らかにしない限り、症状を緩和することはできても、根本的な対策をたてることはできません。体に良くない環境要因が明らかになれば、健やかに育つ環境を整備するために役立てることができます。

また、子どもを対象とした対象者数が1万人規模の調査を複数行っており、睡眠不足が小児生活習慣病のリスクとなることや、インターネット依存の実態、望ましい生活習慣を持つ子どもの社会経済環境や家庭環境を明らかにしました。

これらの調査結果は、学校保健施策等を介して、子



エコチル調査サマーフェスタ



成人保健領域

成人保健領域の調査・研究としては、約5千人の地方公務員を対象として、心理社会的ストレスやワークライフバランスの心身への影響を調査しています。この研究は、英国のロンドン大学ユニバーシティ・カレッジおよびフィンランドのヘルシンキ大学との国際共同研究です。

その結果、日本の労働者は、労働時間が長く、ワークライフバランスが悪いことが分かり、それが日本の労働者の睡眠やメンタルヘルスに悪影響があることが分かりました。日本、英国、フィンランドという国家の体制や保健医療システムの異なる国を比較して類似点や相違点を明らかにすることで、それぞれの国の特徴がよく分かり、疾病対策につなげやすくなります。

高齢者保健領域

高齢者保健領域では、約1.3千人の富山県の高齢者を対象とした調査において、短い教育歴や肉体労働の職歴、糖尿病などの生活習慣病の既往歴が、認知症の発生リスクを高めることを明らかにしました。また、高齢者の歯の喪失は、偏食や少食を介して筋力の低下や虚弱を引き起こして高齢期の生活の質（QOL）を低下させることから、歯の喪失原因を明らかにしたところ、認知症のリスクとほぼ同様の結果となりました。以上から、高齢者の健康を維持するためには、小児期からの一



新型コロナウイルス感染症に関する研究発表で演題賞を受賞

生涯にわたる分野横断的な施策が重要であることが分かりました。

法医学領域

法医学は科学的で公正な医学的判断を下すことによって、個人の基本的人権の擁護、社会の安全、福祉の維持に寄与することを目的とする学問です。人は突然死、事故、自殺あるいは犯罪によって予期せぬ死を遂げることがあり、このような多様な背景を有する遺体を解剖して死因を究明する業務を行っています。犯罪死の証明によって治安維持に貢献することに加えて、本学の特徴的な活動としては、現代医学の最先端の手法を用いて、肉眼や顕微鏡で病気が特定できない突然死例の遺伝子診断、事故や自殺の背景の原因となっている病気の探索があります。このような活動から解剖結果を死因究明に留まらず、遺族や社会に広く還元することを目指しています。

大医は国を癒す

中国古代の医書に「小医は病を癒し、中医は人を癒し、大医は国を癒す」とあります。社会医学は、いわば国を癒す学問であり、「社会の健康」に貢献する学問です。

そのため、社会医学系の医師は、教育機関で教育や研究に従事している人だけではなく、厚生労働省等の行政機関の医師として国民の健康増進に貢献している人も多くいます。さらには世界保健機関（WHO）のような国際機関で活躍している人もいます。

社会医学系の講座は、「人々の健康」を診るために加えて、「社会の健康」をも診ることができる医師の養成に貢献しています。

[疫学・健康政策学講座 教授 関根道和]



看護学の立場から

人を全人的にとらえる看護職を育むカリキュラム

対象理解

保健師、助産師、看護師は人の尊厳を重視し、人々の発達課題と生活の場を考慮して、からだ・こころ・くらしのありようを統合体としてとらえ、理解していく能力が求められます。専門的な用語ではこれを「対象理解」と表し、あたかも相手の目線で物事を捉えられるようになると、相手の立場に立って気持ちを想像し、対象の看護ニーズをとらえることが重要になります。

人を理解するということは看護の本質であり、言うのは簡単ですが、修得するにはトレーニングが必要です。4年生でも、実習において「電子カルテ情報をとることはできたけれども、個別性のある看護計画を立てることは難しかった。」と感想を述べる学生が多くいます。このような状況を学生自身が乗り越える手段として、対象に関心を向け、寄り添い、言葉を交わし、生の声を聴いていく方法をとっています。



ケアリング

熱心に患者に関心を向けることを専門的な用語では「ケアリング」と言いますが、援助的な態度をとりながら

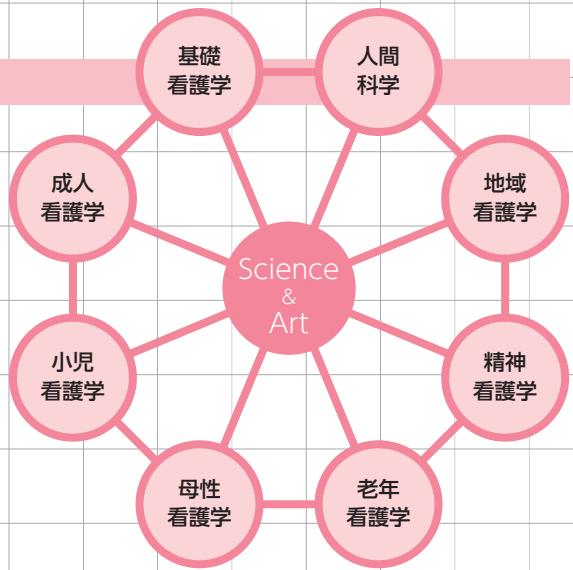
関係性を構築していく相互的なかかわりです。人間対人間の関係性を主軸に、ケアする人とケアされる人の相互関係によって、双方が成長していくという関係性のことでもあります。



援助ニーズのアセスメント

対象の真のニーズは目に見えるものも、からだやこころの中にある見えないものもあり、疾患や認知のゆがみは表面に表れないこともあります。このように検査データとして表れないようなニーズを専門的には「潜在的ニーズ」と呼び、逆に目に見えるもの、つまり検査データに表れるものや言語化されたものを「顯在的





ニーズ」と言います。潜在的・顯在的なニーズを看護実践に取り上げていくためには、ヒトの身体構造、疾病の機序、こころの仕組み、発達課題、人にとっての役割を学ぶことが重要です。



は異なってきます。そのため、専門科目である基礎看護学から始まって、母性看護学、小児看護学、成人看護学、精神看護学、老年看護学、地域看護学と学修し、領域別に重要となる看護診断・計画を展開します。考案した介入が有効なものか否かは、対象者の反応で評価します。まさに患者中心の看護の評価をすることが出来ます。

看護職は、求人倍率が常に2倍以上と社会から期待されている職種です。富山大学での学びをいかして羽ばたいていってほしいです。



[母性看護学講座 教授 長谷川 ともみ]

看護診断・計画

潜在的・顯在的ケニアーズをもとに、看護職が提示できるものに「看護診断・計画」があります。基礎看護学では看護診断の概要を修得しますが、対象者の暮らす場によって、または疾患によって看護診断の優先順位



おもしろい大学の「おも白いたまご」みつけました。



立山の大自然の麓で
自ら殻を割ります。



飛び回る雷鳥を
イメージして、
成長していきましょう。

富山から世界へ 医療人材の育成と 安心できるチーム医療の提供

富山大学附属病院 病院長

林 篤志



1) 富山の医療を支える最後の砦として

未来輝く高校生の皆さん こんにちは。

当院は主に重症の患者さんに先端医療を提供する特定機能病院です。患者さんの命を救う革新的な治療法の研究や医療人育成に取り組む医学部を中心に、薬学部、工学部などの学部とも連携しながら患者さんに新しい医療、より良い医療を提供するため日夜努力しています。

2020年に突如、新型コロナウイルス感染症がおこり、富山県においても日本においても多数の方が感染しました。当院は、第2種感染症指定医療機関となり、感染症病床を増床して、重症患者を診る病院として人工呼吸器、ECMOを必要とする患者さんの治療をするだけでなく、中等症の患者さんも多数受け入れ治療を行ってきました。今年の5月には、新型コロナウイルス感染症は5類になり、やっとコロナ禍から抜け出せそうです。

さらに当院には、他病院では実施できない高度医療を提供する役割も明確にあり、地域の病院等と緊密に連携し、富山の医療を支える最後の砦としての役割を担っています。そのため、医師をはじめ多職種の優秀なスタッフが協力して患者さんの治療に取り組むとともに最新の医療機器や設備を導入しています。

2) 未来を担う医師を育てる環境

医学部4年次になると全国共用試験のCBTとOSCEに合格してStudent Doctorとして臨床実習を開始します。今後は、この共用試験に合格することが医師国家試験の受験資格になってきます。皆さんのが初期臨床研修医としてスタートするときには、優れた研修プログラムを用意している富山大学附属病院の初期臨床研修医になってもらいたいと思います。卒後臨床研修センターでは、初期臨床研修医の皆さんの面倒をしっかりみていますので、安心してください。特に初期臨床研修医の一人



充実した研修を行えるようサポートしています

富山大学附属病院の特徴

- 特定機能病院
- がんゲノム医療拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 災害拠点病院（基幹）
- 難病診療連携拠点病院
- アレルギー疾患医療拠点病院
- がん診療人材育成拠点病院
- エイズ拠点病院
- 第2種感染症指定医療機関

未来を担う医師を育てる環境

- 富山から世界へ、地域へ
- 各自分が思い描く医師になるためのキャリアパスのサポート体制
- 優れた初期臨床研修プログラムと
19基本領域すべての専攻医研修プログラム

地域に根ざした大学病院

- 県内唯一の医育機関であり、すべての専攻医養成が可能
- 高度先進医療とチーム医療の実践により、地域医療の最後の砦となる病院
- 富山県および近隣地域の医療を将来にわたって担う医療人材の育成

一人にはメンターとして先輩医師が個別に配置され、あらゆる相談にのってくれます。初期研修が修了すると、各自が目指す専門医になるための専攻医研修が始まります。当院には専門医の19基本領域すべてが揃っています。富山大学では、自分の希望する専門医を選ぶことができ、皆さんのなりたい医師になることができるのです。



最先端の手術室で高度な医療を提供しています

3) 地域医療を支える大学病院

医学部の地域枠、富山県一般枠、富山県特別枠で入学した学生諸君は、富山県の地域医療に貢献する意思をもち、その意思を実現できるよう医学部1年次から将来へむけての相談を始めます。附属病院は富山県の医療の最後の砦であるとともに富山県の地域医療に必要な医療人材の養成を担う機関です。

地域医療といっても富山大学附属病院から診療所まで幅広く勤務できる病院があります。今後、ますます富山県の人口は減少し、医師が不足していくことが予想されています。富山大学医学部に入学した皆さんのが、富山県の医療に将来にわたって携わっていただきたいと強く念願しています。

附属病院で行っている先端医療を一部をご紹介すると、循環器センターでは小児心臓外科手術を多数行っており、日本のトップ施設です。また、補助人工心臓を扱えるのは北陸で当院のみです。包括的脳卒中センターでは24時間体制ですべての脳卒中治療を担っていま

す。膵臓・胆道センターには、膵臓がんの治療と胆道内視鏡治療のため、全国から多くの方が紹介されてくる日本のトップ施設です。附属病院では、糖尿病センターをはじめすべての診療科で高度先進医療を実施しています。臨床研究管理センターでは医師主導治験などを行い、医学の進歩に貢献しています。これらの高度先進医療は、医師だけでなく薬剤師、看護師、医療スタッフ全員で協力してこそ成しえるものであり、すべての医療人材の養成が必要です。

さらに、これからの富山県の医療では総合診療医や家庭医の需要も高まります。高度先進医療から総合診療まですべての医療人材を育成し、今後とも附属病院は地域医療を支える役割を果たしていきます。

ポストコロナ時代の医療人養成

情報通信技術 (ICT) を活用した医療人教育

医学部では、学習管理システム (Moodle) を用いた学修のオンライン化に先駆けて取り組んでいたことにより、コロナ禍でもオンライン授業へスムーズに移行できました。対面型とオンライン型の良い面を組み合わせて学修に活用し、講義のみならず、心肺蘇生講習会、臨床実習、グループ討議、試験など、新しい学修法に学生と教職員が協力して取り組んでいます。

また、実技の訓練の際に用いる医療用シミュレータでは、各自のスマートフォンを用いて学生同士で評価する仕組みも取り入れています。医療人には、お互いの役割を理解し、コミュニケーションをとる能力も必要です。医学・薬学・看護学合同でのオンライン演習も導入しています。



微生物を瞬時に検出する質量分析



新入生医療学研修の感染対策として、入学したての300人が自ら抗原検査を実践



低学年から取り組む新型コロナ検査実習

「感染症医療人材の養成」と「地域医療人材の養成」

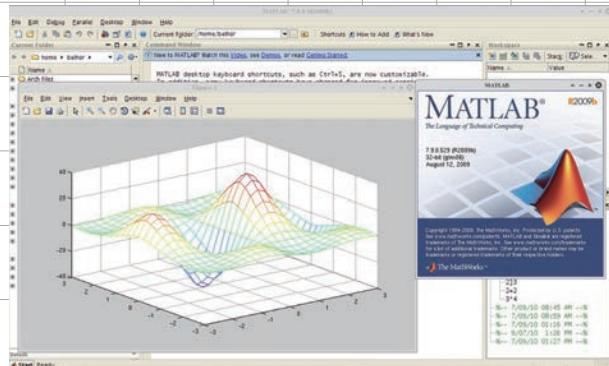
富山大学は、文部科学省から様々な人材養成事業に選定されています。「感染症医療人材養成事業」では感染症教育により地域の感染制御の即戦力となる感染症医療人材を養成しています。2022年からの「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」では、全国3か所の拠点のひとつとして、最先端の機器に触れながらコロナで大きく変わった検査を学修したり、感染対策に必要な知識や技術を修得できる環境がより充実しました。また、2023年からの「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」では、新潟大学とともに吳東地区、糸魚川地区、上越地区を中心として地域医療を担う人材を両大学が協力して積極的に養成していくことになりました。修得した知識や技術を社会還元するところまでを学修することで、地域社会のニーズに傾聴でき時代に合わせて対応できる人材の養成に取り組んでいます。

データサイエンス, ビッグデータ, 人工知能(AI), 持続可能な開発目標(SDGs)などの新しい分野に対応した教育を実施

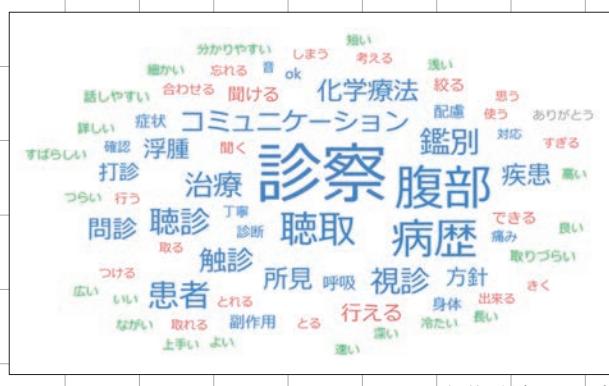
データサイエンスは今後の医療者にも必須な能力

IoT, クラウド, AIなどの情報通信技術の発達により, 様々な人々の活動がネットワークを通じビッグデータとして集約されるようになりました。このデータは集約だけでなく, 分析によって初めて私たちの活動に活用することができます。医療に関わるデータを活用するためには、データサイエンスの基本的な能力を学修し, 使いこなすことが求められています。

北陸地区では富山大学の取組「数理・データサイエンス教育の全学必修化と北陸地区の大学連携による地域への普及」が文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開」協力校に選定されました。令和2年度以降の入学生から数理・データサイエンス教育が必修化され, MATLAB®などの高機能なソフトウェア



データサイエンスソフト(MATLAB®) ("MATLAB® on Arch Linux(xfce)" by Belhor_ is licensed under CC BY-NC-SA 2.0)

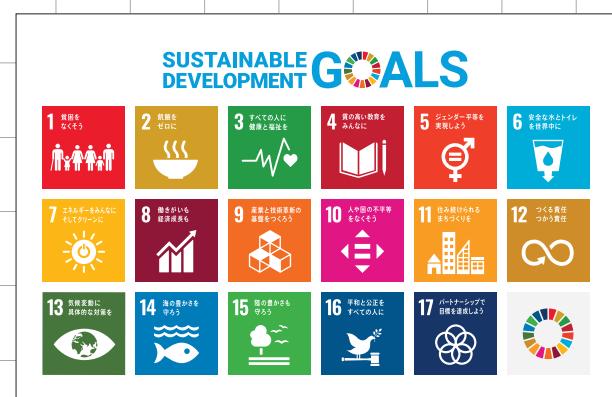


AIテキストマイニングの結果例 (Userlocal)

及びその教育資料を無料で使用することができます。金沢大学及び福井大学と連携しながら、ノウハウの共有や授業科目的提供等を行い、北陸地区の高等教育機関への普及を図っています。必修化された数理・データサイエンス教育に加えて、各学部の特徴に合わせた教育が実施されており、データサイエンスに関わるさらに深い学修が可能です。医学部では、医療や保健に関わる医療統計など、ビッグデータを含めた分析によって、医療における課題の検討などの学修を進めています。

SDGsは世界的な動き

富山大学では、2015年の国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。全学部の教員が協力して、SDGs関連科目を開講しています。また様々な社会活動にも取り組んでおり、学生は講義・実習を通してSDGsを学修します。



〈富山大学医学部の取組み事例〉

SDGs3. すべての人に健康と福祉を

- ・日本・英国・フィンランドの公務員を対象とした
ストレスと健康に関する国際共同研究
- ・保育・教育の場におけるアレルギー疾患児への対応指導

SDGs4. 質の高い教育をみんなに

- ・病気と健康をテーマにした市民公開講座の開催

SDGs9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

- ・新しい医療機器の開発や臨床研究の実施
- など

世界で活躍する医療人の養成

米国式の臨床実習を経験 —ハワイ医学教育プログラム (Hawaii Medical Education Program HMEP) —

医学科では、世界で活躍できる医師を育成することを目的として、ハワイ医学教育プログラムに登録しています。

近年、米国において新興国などからの臨床実習希望者が増加していることから、米国における外国人医学生の受入条件が厳しくなり、日本の医学生が米国で臨床実習をすることが困難になってきました。

そこで、希望者に対して、入学時から医学を英語で学修して在学中にハワイ大学での医学教育を経験できるように企画したのが、ハワイ医学教育プログラムです。

ハワイ医学教育プログラムは、学内の担当教員が全体をコーディネートしています。在学中から海外経験を希望する学生にとって、非常に良い環境が提供されています。



ハワイ医学教育プログラムの概要

(1) 医学科1年次から6年次

e-Learning形式で、医学を英語で学修します。また、米国専門医らが提供する各種セミナーを受講します。米国医師国家試験(USMLE)受験のサポートも受けられます。

(2) 医学科4年次

夏休み期間中に、ハワイ大学における2週間の医学教育を経験できます。

(3) 医学科5年次から6年次

米国式の臨床実習を行っている日本国内の病院の臨床実習に参加します。内科、外科、小児科、産婦人科、救急科、家庭医療、精神科などの主要な診療科において、4週間の米国式の臨床実習を経験できます。この臨床実習は、正式に単位認定されます。

アジア諸国との国際交流

看護学科では、アジア諸国との交流を進めています。学会参加だけではなく、2019年にはインドネシアのハサヌディン大学との学術交流に関する覚書を交わしました。富山大学の教員が視察に行っており、今後の共同研究が期待されるところです。また、経済連携協定(Economic Partnership Agreement: EPA)に基づき、アジア諸国出身の看護師候補者が国家試験を受験する機会が増えました。少しでもサポートするため、漢字へのルビや、疾病名への英語併記などを自動化して作成したドリルを公開しています。



医師・看護師等の資格の取得を全面的に支援

図書館は 24 時間利用可能

杉谷キャンパスの医薬学図書館は、24 時間利用可能です。自宅から利用できるオンライン図書も年々、増加しており、学修環境の改善が図られています。

館内には学生がグループで学修できるグループ学習室が整備されています。また、各学年の学生代表が参加するカリキュラム委員会では学修環境について意見交換が行われ、定期的に学修環境やカリキュラムの改善が行われています。

学習管理システム (Moodle) やテレビ会議システム (Teams 等) が整備され、双方向的な e-Learning など、情報通信技術を活用した教育が提供されています。



医薬学図書館



グループ学習室（セミナールーム）

国家試験合格を全面的に支援

教育プログラムの過不足は定期的に調整され、新たに必要となる学修内容をいち早く導入しています。また、国家試験や外部模試の結果を解析し、学生や教育プログラムに対してフィードバックをしています。

医学科では令和 2 年度から卒業時の実技試験が正式に実施され、実質国家試験化しました。臨床実習では経験が不足する医療行為を模擬的に練習できる環境が整っています。

看護学科では、4 年次 11 月中旬から 2 月下旬まで国家試験に向けての自主学習となっています。そのために各講座で冷暖房完備のゼミ室などを提供し、質問等にも対応しています。学生によっては図書館や自宅など、集中できる場所が異なりますが、学生間での想定問題などを出し合い、団体戦として学習することが望ましいようです。また、3 年次からは教員のサポートもありますが、基本的には学生が主体となって国家試験対策委員会が編成されます。看護師等国家試験模試の回数や日時、キャンパス内の受験会場などを設定し、模試を受けます。模試においても例年好成績が得られています。

このような方法により、医師・看護師等の資格取得を支援しています。



情報処理室

富山県出身者を対象とする入学枠

地域の医療の現状

全国的に地方から都市への医師の流出が進み、県内の医師不足も深刻化しています。また、新型コロナウイルス感染症では、医療と行政の連携がうまくいかず医師偏在も影響しているといわれています。全国的な傾向として、卒業後、都市部に出ると戻ることは稀なため、多くの大学で地域枠を設けることで医師確保に取り組んでいます。国としても「地域医療構想」として、少子・高齢化社会への対策に乗り出しているところです。

富山県出身者枠の設定は、流出する医師不足の解消を目的としているだけでなく、富山大学の特徴を活かして、これから時代に求められている住民の皆さんや行政機関と連携できる医療人養成を行うことも目的としています。

求められるプロフェッショナリズム

このように、富山県出身者枠は富山県全体の医療を維持し、県民の皆さんの思いにこたえるために設けられたものです。サポート体制も充実しており、入学後には、学修支援・進路相談として行われる勉強会や研修会、面談などを通じて、カリキュラム+αの学修とプロフェッショナリズムが養成されます。受験する前から自分自身にその責任を問いかけ、入学後も継続してそのプロフェッショナリズムを磨き、卒業後は定められた研修・診療に従事できるかどうかを真剣に考えてください。

これらは特別に設けられているため、研修する医療機関や卒業後の定められた年限、富山県特別枠の場合には進むことができる診療科に制限があります。ただし、この制限の中で成長して磨いていけるかは自分自身です。これらの入学枠の卒業生がしっかりと役目を果たしているかどうかは常に評価されていて、計画通りに進まない場合には、仕組み自体がなくなるおそれもあります。これは、富山県自体の不利益であるとともに、将来受験する人達の可能性を狭めることにもつながります。迷いがある方は、一般入試枠で受験してください。

学生生活を含めると9～17年後までの約束を伴う入試枠で、これほど先のことを想像することは簡単なことではありません。受験者本人だけでなく、家族の方にもこの入学枠設置の背景と社会的責任を十分に理解いただく必要があります。

医療人は病める人のために尽くす職種であり、富山大学は「仁の精神」をもって地域と世界で活躍できる医療人を求めています。その、富山愛を存分に発揮してくれる人、卒後に富山県を支えてくれる人、そしてそのマインドを後輩にもつなげたいという人をお待ちしています。

なお、詳細は必ず最新の学生募集要項をご覧ください。

富山県でキャリアを積む入試枠

医学科を卒業すると、研修医となり指定医療機関で定められた期間研修を行うこととなります。富山大学では、医師のキャリアをスタートさせるこの重要な時期に、富山県内で研修を行うことを条件として、富山県出身者を対象とした入学試験を設置しています。

富山県出身者を対象とした入学試験（概要）

	学校推薦型 選抜地域枠	総合型選抜 富山県特別枠	総合型選抜 富山県一般枠
対象	現役生	現役生含む卒業後 2年以内	現役生含む卒業後 2年以内
卒業後	富山大学附属病院 を基幹施設とする 研修プログラムで、 2年間の初期研修 を含む3年間の臨 床研修	県内医療機関にお ける臨床研修2年、 特定診療科9年の 臨床に従事 ※特定診療科… 多くの診療科の中 でも特に富山県の事情 に合わせて充足させ るべきとされる定めら れた診療科	富山大学附属病院 を基幹施設とする 研修プログラムで、 2年間の初期研修 を含む3年間の臨 床研修
修学 資金	修学資金貸与制度 なし	県内医療機関への 勤務を条件とする 修学資金貸与制度 あり	修学資金貸与制度 なし

キャリアパスとしての大学院進学（医学）

大学院（生命・臨床医学プログラム）

大学卒業後のキャリアパスの一つとして大学院進学があります。富山大学大学院総合医薬学研究科 総合医薬学専攻 生命・臨床医学プログラム（博士課程・設置構想中）は4年制であり、所定の単位を修得し、学位論文の提出により、博士（医学）の学位が授与されます。

総合医薬学研究科では医学、薬学及び看護学を総合した特色ある教育と研究を礎とし、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を培い、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する高度医療専門職業人または教育研究者としての人材を育成することを目的としています。

大学院総合医薬学研究科 生命・臨床医学プログラムでは基礎医学、社会医学、臨床医学など現代における医学の幅広い分野をカバーしています。本学では「プロの医学研究者」になるための必須のスキルの修

得から卒業後を見据えたキャリア形成まで総合的に学ぶことが可能です。近年、研究のボーダレス化が加速し、分野を越えて、国境を超えて研究を行う必要がありますが、本学では講座間での共同研究や国内・国際共同研究を盛んに行なっており、世界に向かた多くの研究成果を発表しており、その中心に大学院生が関わっています。

大学院への進学するタイミングは学部卒業後、初期研修終了後、後期研修終了後など多様です。本学では後期研修のプログラムの中に大学院進学を組み込んだものもあり、効率よく大学院で学ぶことができます。さらに、本学附属病院や関連病院に勤めたままで、社会人大学院生として、仕事と研究を両立させながら、大学院で研究ができる制度もあります。また、本学の学部で所定のプログラム（研究医養成プログラム）を修了していれば3年間で学位を修得することも可能です。

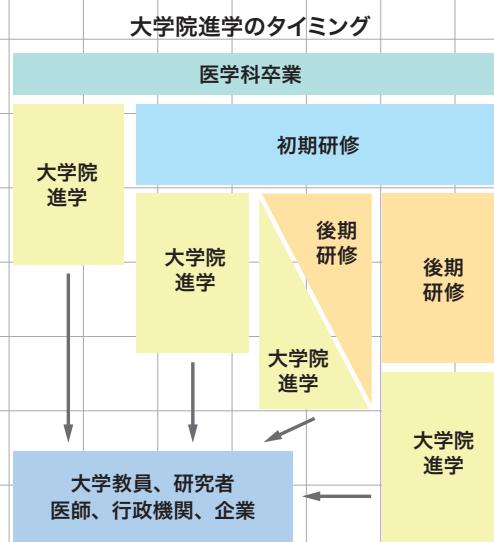
修了後の進路

教員・研究者（大学、研究所等）

医師（病院、行政機関）

企業（創薬開発、治験関連）

大学院を修了して得られる博士（医学）の学位は、キャリアパスの可能性を拡げます。大学院の卒業者は大学教員、研究者、病院における医師として活躍しています。また、製薬企業、医療関連機器の企業、ヘルスケア企業などに就職する卒業生もいます。厚生労働省、県などの行政機関、保健所などの公的機関に進む道もあります。さらに研究を続けるため米国や欧州の大学・研究所に海外留学をする卒業生も多くいます。富山大学医学部医学科卒業生も、多くの方が大学院に進学し、富山だけでなく日本中、世界中で活躍しています。



(注) 大学院医学薬学教育部、大学院理工学教育部等の修士・博士前期課程を統合・改組し、総合医薬学研究科総合医薬学専攻 生命・臨床医学プログラム博士課程を設置構想中

キャリアパスとしての大学院進学（看護学）

～看護学スペシャリストを目指すあなたに～

大学院では博士前期課程、博士後期課程を設置しています。研究者、看護学教員、診療看護師（NP）、がん看護専門看護師（CNS）、母性看護専門看護師（CNS）および省庁の技官になりたい人などのニーズに応え得るコースがありますので、ご自身の人生の中での貴重なキャリア形成の基礎を構築することができます。

看護科学プログラムにおける教育は、大学院共通科目、研究科共通科目、看護科学プログラムの各科目、学位論文指導により構成されています。

博士前期課程

博士前期課程看護科学プログラムには以下の4コース、各専門分野があります。修業年限は2年間ですが、長期履修制度を活用し（4年間まで）社会人として仕事と学業を両立しながらの学修も可能です。どのコースでも修士（看護学）を取得できます。

① 研究者コース：看護ケアサイエンス学

母子看護学

地域・老年看護学

② がん看護専門看護師（CNS）コース

③ 母性看護専門看護師（CNS）コース

④ NP（ナースプラクティショナー）コース

すべてのコースにおいて共通科目があります。共通科目は、大学院共通科目と研究科共通科目の履修により幅広い知識を基盤とし、チーム医療・多職種協働を実践できる教育課程を編成しています。1年次より、学位論文の研究課題・計画を検討します。倫理手続きを遵守し研究を遂行し、修士（看護学）の学位論文を作成します。

① 研究者コース

今後ますます発展する看護学において研究者としての基礎を身に付けます。これによって、看護大学の教員など、教育・研究への将来的な道が開きます。各領域の特論、演習を終えたのち、修士論文作成に向けて特別研究を行います。

② がん看護専門看護師（CNS）コース

がん看護における高度な専門知識と技術を身に付け、質の高いケアを患者に提供することが出来ます。各領域の特論、演習を終えたのち、所定の実習を行い、修士論文作成に向けて実践特別研究を行います。

③ 母性看護専門看護師（CNS）コース

女性の健康において高度な専門知識と技術を身に付け、質の高いケアを患者に提供することが出来ます。各領域の特論、演習を終えたのち、所定の実習を行い、修士論文作成に向けて特別研究を行います。

④ NPコース

診療の実際を学ぶことを通し、診療看護師（NP）の役割を担うための実践力を養う実習が多くを占めますが、実践課題も行います。急性期領域、慢性期領域において診療にも携わる高度な専門知識と技術を身に付け、質の高いキュアとケアを患者に提供することができます。

※②～④は、看護師経験必須

博士後期課程

博士後期課程では持続可能な地域ケア体制・ケアシステムを構築し、国民の健康（身体的、精神的、社会的、スピリチュアル）と自助・共助・公助がバランス良く機能するコミュニティの形成を目的とし、共通科目の他、以下の3つの専門分野をおいています。修業年限は3年間ですが、長期履修制度（6年間まで）を活用し、社会人として仕事と学業を両立しながらの学修も可能です。博士後期課程は、前期課程からの連続で進学されると入学金は不要です。論文提出後、審査を通り、博士（看護学）を取得できます。

① 基礎看護科学分野

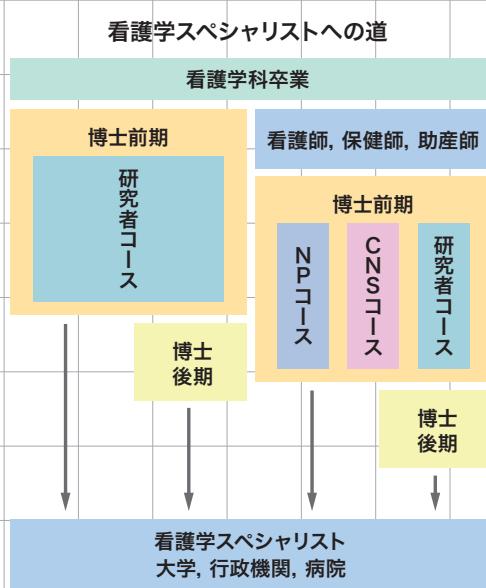
全人的な個としての在り方を、「基礎看護学」での看護観・人間観・健康観に基づく捉え方、及び、「精神看護学」でのスピリチュアルな側面をも含めた全人的捉え方に統合・発展させた教育・研究を行います。

② 臨床・生体機能看護科学分野

全人的な個として、環境との相互関係で発生から成長発達していくという見方から、「基礎看護学」での細胞レベルでの人間の理解、また環境と人間との相互関係からみる生体防御システム、「母子看護学」及び「成人看護学」での発達段階及びその時期に特有の健康問題等を統合・発展させた教育・研究を行います。

③ 地域ケアシステム看護科学分野

地域社会でのケアシステムの在り方を、「老年看護学」での高齢者とその家族に対する生活文化を尊重した看護と、「地域看護学」でのコミュニティが持つ自助・共助の力の醸成及び包括的な社会資源として機能させる看護を統合・発展させた教育・研究を行います。



(注) 大学院医学薬学教育部、大学院理工学教育部等の修士・博士前期課程を統合・改組し、総合医薬学研究科総合医薬学専攻 看護科学プログラム博士後期課程を設置構想中

先輩からのメッセージ

医学科

富山の勤勉な風土が育ててくれます



富山大学医学部
疫学・健康政策学講座
准教授

山田 正明
(2002年 卒業)

私は滋賀県の高校を卒業した後、1996年に富山医科大学（現富山大学）医学部医学科に入学しました。身内もおらず当初は杉谷キャンパス周辺に住むのは不安でした。しかし杉谷キャンパスでは同級生が近くに住んでいることが多く、また部活動も盛んで多くの先輩後輩ができ、安心して学生生活を送ることができました。この縦（先輩後輩）と横（同級生）の関係は試験勉強の助言だけにとどまらず、卒業後の今でも大きな財産となっています。

私は卒業後、内科（消化器科と漢方）医として12年間勤務しました。内科と内視鏡（胃や大腸カメラ）の専門医も取り終えて一人前になったと感じましたが、一つ学び残したがありました。それは統計でした。統計ができないために学会ではいつも症例報告の発表をしていました。症例報告とは稀な一症例の治療経過を報告するのですが、所見や治療を普遍的なものとして発表するには、多くの症例を集めて統計を使った報告が必要です。そんな時、旧知の先輩や同級生が病院での仕事を加え、大学院に入学して医学博士を取るための研究までしていました。みんな「大変だよ～」と言いながら、実験手技を身に付け、統計を学んで英語の博士論文を仕上げていくのです。皆さんにはまだ想像ができないと思いますが、卒業後に医師の仕事を6～10年程度して、再び学生（大学院生）として学び直すことは大変な気合が必要なのです。しかし先輩や同級生がますます成長していく姿に魅了され、私も大学院で頑張ろうと決意できました。今振り返ってもあの時に統計学を学んで、人生の幅を広げておいてよかったと思います。富山大学の勤勉な風土、周囲の人達に恵まれたと感謝しています。

現在の私は、社会医学で統計を駆使する「疫学」研究をしています。具体的には富山県でどの程度の児童がネット依存なのか（有病率）、またネット依存にかかりやすい子はどんな生活、家庭環境なのか（リスク因子）などの分析です。私はこの関係から小中学校で児童の前で話す機会が多いのですが、ほとんどの子が静かに話を聞くことができます。富山は県全体が非常に勤勉だなと実感します。

是非皆さんも富山大学に入学して、県と富山大学がもつ勤勉な風土を感じてみてください。人生を通して良い影響があります。もちろん部活など勉強以外にもたくさん学べることもあります。皆さんと一緒に過ごせることを楽しみにしています。

富山でいっしょに学びましょう



富山大学附属病院
第一内科（リウマチ・膠原病）
ER 兼任診療助手

木戸 敏喜
(2013年 卒業)

「医学部案内」を通じて皆さんとお会いできうれしいです。私は富山県立高岡高校を卒業し、富山大学医学部で学びました。卒業後は内科や救急の研鑽を積み、現在はリウマチ専門医として診療にあたる一方、ERで救急診療にも従事しています。先輩方からの教えを後輩たちに返せるようにと富山大学大学院に入学し医療者教育学の勉強を始めました。

中学時代に剣道を始めて、大学でも稽古を続けました。大学入試で剣道経験者の先生が面接してください、緊張しながら剣道トークをした思い出があります。なぜそこまで緊張したかというと、私の受験は背水の陣だったからです。私が受けた頃の後期試験の倍率はオバケのようでした。幸い、試験科目との相性がよかつたこともあり富山大学に入学することができました。

大学生活では部活の先輩方がとてもよく面倒を見てくださり、試験対策から生活上の買い物などの支援も手厚いえ、遊びにもよく誘っていただきました。大会の後、OB・OGの先生方と熱のこもった剣道談義ができることも楽しかったです。

学生時代には、熱心な友人と医療に関する勉強会も企画しました。地域の病院にでかけて行き、医療ニーズや将来の課題を探るワークショップを通じて医療者の先輩方と交流する「地域医療を考える合宿」という企画を2年ほど行いました。当時交流した病院の先生方には私自身の初期研修を含め現在の診療でも、大変お世話になっております。

学士編入（大学を出てから医学部に編入する）の友人、国境なき医師団を目指していた友人とフランス語の勉強会や英語の症例集を読み解く勉強会などもやりました。個性豊かで、様々なバックグラウンドの学友がいました。大学病院でともに診療に従事している人もいれば、海外で研究者として活躍している人もいます。私も最近はオンラインで世界中の研究者や医療者と勉強しています。グローバルな目線で、ローカルに働く医療者を目指し日々自己研鑽に努めています。

富山のおいしい幸をいただき、人間関係に恵まれながら大学を卒業し、医療者として社会に関わりながら人生経験を積んでいくと、私は人とのつながりのなかで成長していることを実感します。

富山大学での出会い、富山県での診療を通じて、みなさんも一緒に学んでいかれることを楽しみにしています。

富山大学で医師を志す



医学部 医学科 6年

長津 香穂

(静岡県・静岡県立垂山高等学校卒業)

皆さんこんにちは。富山大学に興味を持ち、この冊子を手に取っていただきありがとうございます。この場をお借りして富山で過ごす医学生生活の6年間の概要とその魅力についてご紹介できたらと思います。

まず入学後1年間は、他の学部との共用キャンパスで歴史や語学などの教養科目を中心に幅広い領域を学ぶことになります。6年間の中で1年生の期間は、特に時間的に余裕があり学業以外の分野にも興味関心を広げていく良い機会となると思うので他学部と交流したり、旅行をしたり是非たくさんの経験をしてください。2年生になるといよいよ医学の勉強が本格的に始まります。まずは人体の正常な構造や機能など医学の基礎となる部分を学び、3年生から4年生前半にかけて病気つまり体が正常な状態とどう違うのかを座学で学びます。覚えることがたくさんあり山ほどの試験が待ち構えますが、医学部は忙しくて勉強ばかり、進級できないんじやないか…と不安な方も安心してください。多くの学生が友人と協力して切磋琢磨し無事乗り越えていきます。そして晴れて全ての試験を突破すると4年生の後半からStudent Doctorとして大学病院での実習が始まります。今まで講義で蓄えた知識を実際の医療現場でどのように活かすのか、問題解決のために必要な判断力など実践的な経験を積んでいきます。また令和5年度から長期滞在型プライマリケア実習という地域病院での実習を選択できるようになりました。富山県や近隣の県の地域病院で3ヶ月間実習を行い地域医療を学ぶプログラムで、研修医とほとんど同様の立場で実習を行いより地域に密着した医療に触ることができます。

富山大学医薬系キャンパスの特徴の一つとして学生同士の距離の親密さにあると私は感じています。学生の多くはキャンパスの近くで生活しており皆で出かけたり、食事をしたり雪かきをしたりと先輩後輩や友人たちと支え合って過ごすアットホームな環境です。また、大学の図書館は24時間利用可能ですので皆で集まって試験対策に打ち込むことも、研究医養成プログラムという研究に興味のある学生を支援するプログラムに参加し同じ志を持つ仲間同士協力しながら研鑽し、学生のうちから学会発表を経験することもできます。

受験生の皆さんは全国の医学部の中でどの大学を受験するか迷うこともあると思います。オープンキャンパスに参加したり在校生の話を聞いたりすることで入学後の大学生活を具体的に思い描くことができるのではないかと思います。是非一度富山大学杉谷キャンパスに見学にいらしてみてください。



入学式



医学薬学祭



卒業式

先輩からのメッセージ

看護学科

大学院進学と現場看護師の両立



総合医薬学研究科
修士課程1年

廣川 桃子
(2020年卒業)

私は現在、看護師として富山大学附属病院で勤務しながら、大学院の修士課程で学んでいます。私からは、看護現場で働きながら大学院進学を決めたきっかけについて話したいと思います。

まずは、学部を卒業し看護師1年目として勤務を始めました。ちょうどコロナウイルスが流行り始めた年です。勤務前に希望していた部署は全て外れ、配属された部署は1週間後にはコロナ対応病棟になるため、新人がコロナ対応するのは難しいだろう、とまた違う部署に配属。数か月経つとコロナ病棟へ配属が戻り…。自分自身、何をしているのか、何がしたいのか分からず1年目、2年目と月日が経ちました。周囲からは「かわいそう」と言われることがありましたが、そう考えるのではなく、私自身はコロナ禍がきっかけとなって、自分は何をしたいのか、どうなりたいかを見つめる機会になりました。看護現場で疑問に思うことを深く調べてみたい、同期や友人と愚痴を言っている内容を深掘りして看護の研究にしたら面白いのではないか、どんな研究があるのか、と思うようになり、看護師3年目に大学院進学を決めました。

現場で出てきた疑問を研究で還元したり、研究から現場に繋げたりと双方にリンクできるような看護師になりたいと思っています。現場での学びも大学院での学びも興味深く、忙しくも楽しく学べています。きっかけはどこにあるか分かりませんが、広くアンテナを張って挑戦してみるのも良いと思います。看護師としても学生としても一緒に頑張っていきましょう！

学生時代の経験



信州大学医学部附属病院
看護師

星 美詞
(2022年卒業)

私が富山大学を選んだ理由は看護師、保健師、助産師の国家試験受験資格を取得できることです。また、富山県はくすりのまちとして有名であり、漢方についても学修できることから富山大学に進学を決めました。

県外から進学したため、大学では一人暮らしをしていました。授業、バイト、部活がある中で空いた時間で料理や掃除など家事をいつ、どのようにこなすかといった生活能力についても身についたと思います。

授業について私が特に興味があったことは解剖生理学です。選択授業に形態機能学演習があり、医学科の解剖学実習の献体を見せていただき、理解を深めることもできました。授業ではグループワークを行うこともあります。各々の得意不得意で役割を分けて作業をしたり、さまざまな意見を交換できる場となり、協働したり、広い視野を持つことができる機会でした。

実習は半年間の領域別実習、2週間の総合実習があります。私たちはコロナ禍での実習でしたが、大学附属病院での実習を行うことができました。実習では看護技術の実践、アセスメントだけでなく、患者さんひとりひとりに合わせた関わり方についても学びました。

私は現在手術室看護師として働いており、患者さんの安全、安楽を保持できるように看護をしています。手術部で患者さんとコミュニケーションをとれる時間は短いですが、短い時間の関わりでも、信頼関係を築き、不安を軽減できるように考えて患者さんに接しています。

学生時代に学ぶことは仕事をしていく上で基礎となる部分です。たくさん学び、経験して実りのある学生生活を送ってください。

オープンキャンパス



Campus Scene



母性看護学実習

政令指定都市の保健師としての役割



堺市健康福祉局
健康部健康推進課 保健師
青山 裕紀
(2021年 卒業)

私は小学生の頃から小児科の看護師になることが夢でした。地元の富山大学看護学科に進学し、日々の授業や部活動を通して同期の仲間や先輩方に恵まれ充実した大学生活を過ごすことが出来ました。4年次に進級する際にはCOVID-19の流行に伴い、臨床実習は自宅や学内での実習になった領域もありました。しかし、どの実習においても先生方がその時の最善の方法を取ってくださり、私たち学生が臨床に出ても不安ないようにご配慮くださいました。

学部卒業後は富山大学の博士前期課程に進学し、大学院生として2年間過ごしました。きっかけは大学生時代から続けていた、小児科の診療所でのアルバイト経験です。子どもの発熱に対して不安に思っているお母さんが多いこと、そのお母さんたちの助けになりたいと思い進学、研究に取り組みました。研究に取り組んだ結果、これまで小児科の看護師として働きたいという夢から、得た知識を広く普及するために保健師として活躍したいと思うようになりました。政令指定都市での保健師を目指しました。現在は政令指定都市である堺市の保健師として、成人のがん保健に取り組んでいます。希望とは異なりますが、大学院で学んだ統計学が役立ち、府や国への報告、事業効果の検証などを行っています。直接市民の方と関わることは少ないですが、保健師という専門職としての視点を持ち市民の方々がさらに健康に关心を持っていただけるように取り組みたいと思っています。

富山大学で過ごした6年間は私にとってかけがえのないものであり、夢を叶えるために先生方をはじめ多くの方がサポートして下さる素敵な学校です。ぜひ皆さんも富山大学で充実した大学生活を送ってください！

充実した大学生活



医学部 看護学科 4年
有沢 亜優
(富山県立砺波高等学校卒業)

私が富山大学を選んだ理由は、在学4年間で看護師はもちろん、保健師や助産師の資格、養護教諭二種免許状も申請することができるという点に魅力を感じたからです。1年次は教養科目や基礎看護学を学びます。2、3年次はより専門的な看護学を学ぶことができます。4年次は臨地実習が始まり、これまで学んだ知識や技術を基に看護を臨地で実践します。私は入学当初から母性看護学に興味を持っていたため、3年次に助産学専攻コースの選抜試験を受験しました。助産コースに進むと、他の看護学生よりも履修科目が多く、助産学実習もあります。ここだけ見ると「忙しそう」、「大変そう」と思われる方もいるかもしれません、親身になって指導してくださいの先生方や同じ目標を持つ仲間たちのおかげで、多くの刺激を受けながら充実した大学生活を送っています。さらに、杉谷の図書館は24時間利用可能であり、集中して勉強することができる環境が整っているため、学生の強い味方です。グループ学習室と一緒に勉強することもできます。

大学生活は高校と違って自由な時間が多いです。その時間を使ってアルバイトをしたり、友達とランチに行ったりすることができます。とても充実した生活を送ることができます。また、富山大学はサークル活動も盛んに行われています。私は剣道部とピアエデュケーションサークルに所属していますが、サークル活動を通して、他学部の先輩や同期、後輩とも関わることができます。兼部することも可能なので、入学した際はぜひ色々見学してみてください。

このように富山大学では、同じ夢を持った志の高い仲間たちと楽しい時間を過ごすことができます。勉強だけでなく、サークル活動も遊びも全力でできます！皆さんも富山大学に入学し、充実したキャンパスライフを送りましょう！

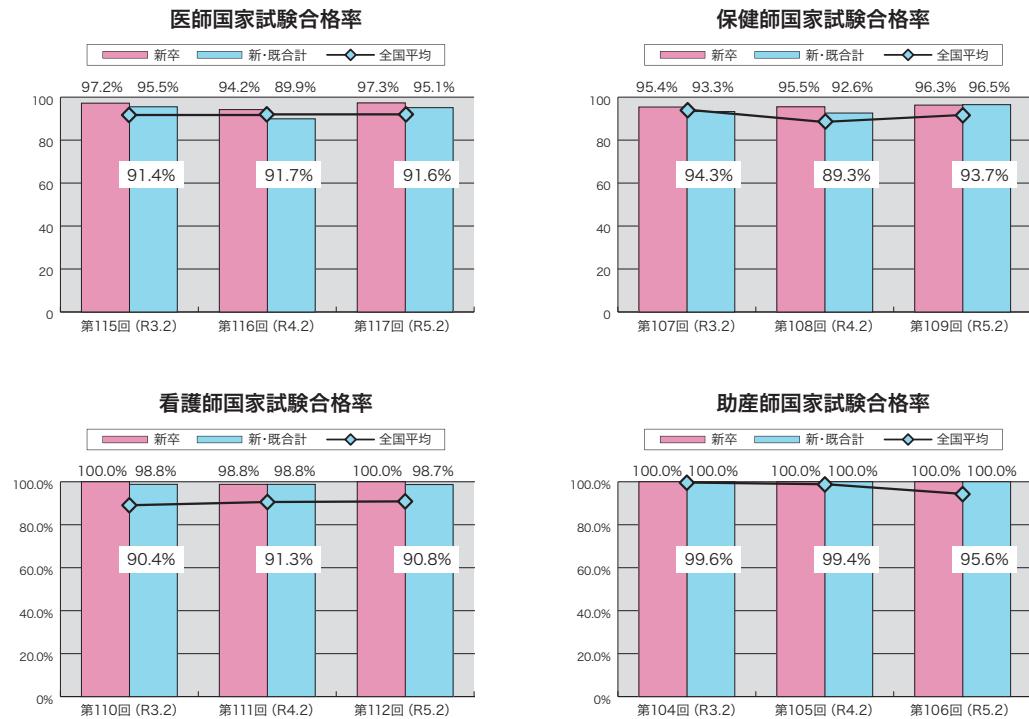


学内演習

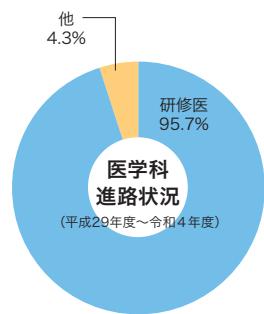


総合実習

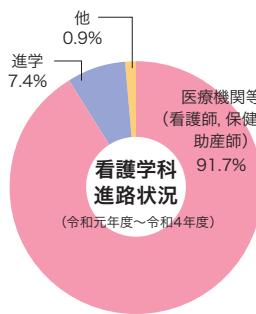
国家試験合格状況（過去3年）



医学部卒業者の進路状況



《主な卒後臨床研修病院》
【富山県内】
●富山大学附属病院 ●富山県立中央病院 ●富山赤十字病院 ●厚生連高岡病院
【富山県外】
●東京大学医学部附属病院 ●慶應義塾大学病院 ●東京医科歯科大学病院
●筑波大学附属病院 ●北里大学病院
●京都大学医学部附属病院 ●名古屋大学医学部附属病院 など

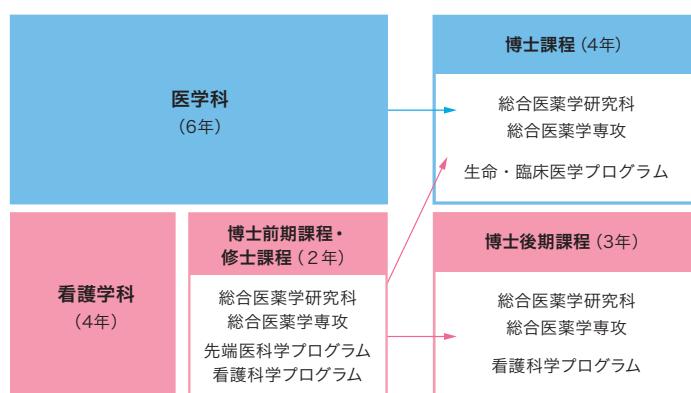


《主な就職先》
●富山大学附属病院 ●富山赤十字病院 ●石川県立中央病院 ●順天堂大学医学部附属順天堂医院
●東京慈恵会医科大学附属病院
●大阪大学医学部附属病院 ●名古屋大学医学部附属病院 ●信州大学医学部附属病院 ●富山県庁 ●富山市役所 ●長野県庁 など

大学院（令和6年4月予定）

※博士課程（4年）、博士後期課程は令和6年4月設置予定【設置構想中】です。設置計画は予定であり、変更が生じる可能性があります。

構成



募集人員

博士前期課程・修士課程	
総合医薬学専攻	
先端医科学プログラム	6人
看護科学プログラム	8人
博士後期課程	
総合医薬学専攻	
看護科学プログラム	3人
博士課程	
総合医薬学専攻	
生命・臨床医学プログラム	30人



富山県へのアクセス

【東京から】

- ・飛行機で羽田空港から富山空港まで約1時間
- ・北陸新幹線でJR東京駅からJR富山駅まで約2時間10分

【大阪から】

- ・電車でJR大阪駅からJR富山駅まで約3時間10分
- ・車で名神高速道路～米原JCT～北陸自動車道～富山

【名古屋から】

- ・電車でJR名古屋駅からJR富山駅まで約3時間
- ・車で名神高速道路～一宮JCT～東海北陸自動車道～北陸自動車道～富山

【北海道から】

- ・飛行機で札幌・新千歳空港から富山空港まで約1時間30分



富山駅から五福キャンパスへのアクセス

【市内電車】

- ・富山駅前「富山大学前」行き、終点「富山大学前」下車／約15分

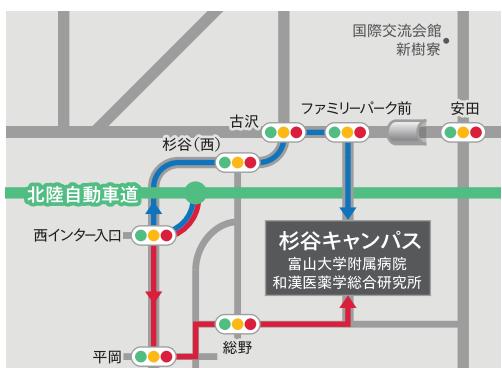
【路線バス】

- ・富山駅前「富山大学前経由」(3番乗り場),
「富山大学前」下車／約10分

富山駅から杉谷キャンパスへのアクセス

【路線バス】

- ・富山駅前「富大附属病院循環」(3番乗り場),
「富山大学附属病院」下車／約30分



※杉谷キャンパス内の外来専用駐車場が手狭なためご来学にあたっては、なるべく公共の交通機関等をご利用くださいますようお願いします。

※杉谷キャンパス：医学部、薬学部、富山大学附属病院、和漢医薬学総合研究所

※五福キャンパス：人文学部、教育学部、経済学部、理学部、工学部、都市デザイン学部、

※高岡キャンパス：芸術文化学部

※五艘地区：富山大学教育学部附属学校園

※寺町地区：国際交流会館、新樹寮



富山大学ウェブサイト
入試資料請求



YouTube 公式チャンネル



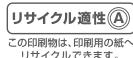
URL: <http://www.med.u-toyama.ac.jp>

富山大学 医学部

〒930-0194 富山県富山市杉谷2630

杉谷地区事務部学務課入試担当 Tel. 076-434-7138 E-mail:nyuushi@adm.u-toyama.ac.jp

※掲載情報は2023年4月現在のものです。最新情報はWebサイトにてご確認いただけます。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。